

## 第26回学術シンポジウムプログラム

### 「Withコロナ社会に向けて：ウイルス検査に基づく新型コロナウイルス感染症対策への取り組み」

中国に端を発した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な大流行は、未だに終息が見通せない状況です。ワクチン接種によって新規の感染者を限りなくゼロに抑え込むとの当初の期待は、次々に現れる変異株によってその期待に疑問符がつき、Withコロナの社会が現実味を帯びてきています。Withコロナ社会においては、感染者の抑制のための様々な制限と社会経済活動のバランスをいかにとっていくのが課題と思われまます。様々な場面におけるウイルス検査がますます重要になっていまます。

本シンポジウムでは、下水中の新型コロナウイルスを観測することで個別施設での感染者の早期発見や市中でのウイルス感染状況の監視に取り組む専門家、人を対象とした抗原検査、PCR検査、抗体検査などを活用して大学での感染症対策に取り組む専門家をお招きし、活動の最前線についてオンラインでご講演いただきます。Withコロナ社会に向けて、ウイルス検査のエビデンスに基づく新型コロナ感染症対策について考える場にしたいと思います。

■期日：2021年（令和3年）11月 5日（金）13:00～17:20（受付 12:30）

■会場：オンライン

■オーガナイザー：井原 賢（高知大学 農林海洋科学部 准教授）

#### ■プログラム

- |             |   |
|-------------|---|
| 13:00-13:05 | 開会の挨拶   |
| 13:05-13:50 | 講演1「下水道を活用した新型コロナウイルスサーベイランスの国内の動き」<br>田中 宏明（京都大学 名誉教授）                           |
| 13:50-14:35 | 講演2「下水中 SARS-CoV-2 の高感度検出に基づく流行動向把握と変異株の早期検知」<br>北島 正章（北海道大学 大学院工学研究院環境工学部門 准教授）  |
| 14:35-14:45 | 休憩  |
| 14:45-15:30 | 講演3「下水 SARS-CoV-2 検査陽性率を用いた COVID-19 療養者数の増加確率予測」<br>本多 了（金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 准教授） |
| 15:30-16:15 | 講演4「下水疫学調査における古くて新しい試料採取法と「京都モデル」の展開」<br>八十島 誠（㈱島津テクノリサーチ 環境事業部副事業部長 兼 分析研究センター長） |
| 16:15-17:00 | 講演5「東京大学における新型コロナウイルス感染症対策」<br>柳元 伸太郎（東京大学 保健・健康推進本部 教授）                          |
| 17:00-17:15 | 総合討論  |
| 17:15-17:20 | 閉会の挨拶<br>井原 賢（高知大学 農林海洋科学部 准教授）   |

■参加費： 無料（\*要旨集はダウンロード版として提供します。）

※お願い：法人会員及び個人会員様には、要旨集より詳細な発表資料を年報として後日、配布いたしますので、この機会にぜひ、本研究会へのご入会をご検討ください。詳細は、事務局までお問い合わせください。

■申込み：今回は、オンラインセミナーのため、事前参加申し込みが必要です。

申込期限は 11 月 1 日（月）

申し込み後、参加証／講演集メールによる送付します。

問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地

株式会社日吉内

TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192

E-mail：[basi@hiyoshi-es.co.jp](mailto:basi@hiyoshi-es.co.jp)

HP：<http://www.basj.info>

## 参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([basi@hiyoshi-es.co.jp](mailto:basi@hiyoshi-es.co.jp))

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第26回学術シンポジウムの参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :